

項 目	豊かなみどりを育む意識の醸成	NO	3-4-1
-----	----------------	----	-------

事業名	むらやま版・木のある生活推進事業		
事業費	224 千円	担当部局課	村山総合支庁 森林整備課

1 目 的

身近に木に触れる体験を通じて、素材としての木の良さや木を使うことの大切さを伝えることにより、県民に地域材利用の意義や森林への理解を深めてもらい「県民参加の森づくり」の機運を高めるとともに、充実してきた地域森林資源の有効利用と森林ノミクスの推進につなげていく。

2 事業概要

木の良さや木を使うことの大切さを学ぶプログラムの開発を行う。

(1)むらやま版・木育推進協議会の開催

プログラムの内容検討、試行、評価・検証するため、県、関係市町、幼稚園、小学校、木工等の実践者で組織したむらやま版・木育推進協議会を開催(6月・2月)

- 6/26 第1回協議会開催 協議会の進め方、プログラム検討
2/18 第2回協議会開催 プログラム試行結果の報告 令和元年度プログラムの検証・決定

(2)体験プログラムの開発と普及

魅力的で波及性の高く、地域材の特色を活かした多様な体験プログラムを複数開発するため職員出前講座による体験プログラムの試行を行い、協議会において試行結果を検証し、プログラムの改善や木育の普及を図る。

- 6/4~6 試行 村山市大字山ノ内上平国有林(村山市)
10/5 試行 東原幼稚園(山形市)
12/26 試行 第3滝山こどもクラブ(山形市)

3 成果と課題

【成果】

協議会及び出前講座によるプログラムの検討・試行・検証を行い、木育プログラム「むらやま版・森の炭づくり」「むらやま版・森の炭づくり」「むらやま版・森のペンダントづくり」「むらやま版・森のマグネットづくり」完成

【課題・対応】

- ・ 刃物や発熱器具を使うなど危険性を伴う。
→ 体験者が判断しやすいように、プログラム安全度や難易度を表示した年齢層別メニュー表を作成した。
- ・ 協議会委員の方から様々な木育プログラムのアイデア等の提供を受けた。
→ 今後検討のうえ、今年度のプログラム試行を検討する。

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和元年度むらやま版・木のある生活推進事業の取組事例】

むらやま版・木育推進協議会の開催

第1回 むらやま版・木育推進協議会

開催日 令和元年6月26日(木)・令和2年2月18日(火)

協議事項 令和元年度の木育の進め方、地域材の特色を活かしたプログラムの検討、教材作成の検討など

概要

木工品製作者、製材業者、幼稚園・小学校の先生及び行政関係者による協議会を開催し、専門的なアドバイスなどをいただきながらプログラムの検討、作成、評価・検証を行いました。令和元年度は「森のペンダント・マグネットづくり」と「森の炭づくり」のプログラムを作成をしました。



木育推進協議会



プログラム試行の状況



プログラム試行の状況



森のペンダント



森のマグネット



森の炭作り

項目	豊かなみどりを守り育む意識の醸成	NO	3-4-2
----	------------------	----	-------

事業名	BEST!森づくりリーダー育成事業		
事業費	369 千円	担当部局課	最上総合支庁 森林整備課

1 目的

最上地域の豊かなみどりを守り育む意識を醸成するために、森を守り、育て、暮らしに活かす、幅広い森づくり活動を実施できる人材を市町村と連携して育成する。

2 事業概要

(1) 「養成講座」の開催

- ・ 春、秋、冬の年3回。春、秋は2日、冬は1日で講座を開催。

場 所：山形県遊学の森(金山町)

対象者：一般県民で自然環境教育に関心がある方

受講者：春の講座 5月12日、6月16日開催 39名参加。

受講者：秋の講座 11月4日、11月24日開催 38名参加

受講者：冬の講座 2月16日開催 22名参加

(2) 森づくり交流研修事業

- ・ 養成講座の参加者及び森づくり活動実施団体等を対象に、最上地域の森林・林業に関する先進的取組みを現地で体験する交流研修を市町村と連携して開催する。
 - ・ 年1回 2月14日開催 8名参加

3 成果と課題

(1) 成果

- ・ 森づくりリーダー（森の案内人）として、必要な基礎的知識や技術を習得することができた。さらに指導者として参加者に怪我や事故のないように安全に配慮した活動する知識を習得できた。
- ・ 木育の推進に関する先進的取組みを現地で体験でき、今後の森づくり活動の発展のきっかけとなった。また、森づくり活動する個人や団体間の交流やネットワークづくりができた。

(2) 課題

- ・ 講座内容については概ね好評であるが、新規講座受講者の減少や、森づくりリーダー（森の案内人）の高齢化、森の案内人として活動ができる指導者が減ってきていることから、この講座を継続して開催する必要がある。
- ・ 森づくり交流研修会では、参加者のニーズに合わせた視察地を検討する必要がある。

やまがた緑環境税を活用した取組み

【BEST! 森づくりリーダー育成事業の取組事例】

① 養成講座

【春の講座A】



【春の講座B】



【秋の講座A】



【秋の講座B】



【冬の講座】



② 交流研修会【森づくり交流研修会】



項 目	豊かなみどりを守り育む意識の醸成	NO	3-4-3
-----	------------------	----	-------

事業名	置賜みんな一緒に森林活動ネットワーク事業		
事業費	152 千円	担当部局課	置賜総合支庁地域保健福祉課

1 目的

- (1) 森林活動に親しむことが難しい障がい者が、活動範囲を広げ置賜地域の山の素晴らしさを体感すること、また障がい者と関わることの少ない森林案内ボランティアが、障がい者の特定や補助技術を習得し障がい者を案内することを通して、互いの”心のバリアフリー”を推進する。
- (2) 障がい者森林案内ボランティアの技術等の向上と増員を図り、障がい者が安心して案内を依頼できる受け入れ態勢を構築すると共に、障がい者が気軽に自然に親しむことができる環境整備を図る。

2 事業概要

- (1) 障がい者森林案内ボランティア養成講座(年1回)
障がいごとの特性や接し方の知識の習得及び、車椅子等徒歩以外での移動手段の補助技術の習得を行うと共に、実際に置賜地域の森林において障がい者の案内体験を実施した。
令和元年9月17日(火) 米沢市南原コミュニティセンター・米沢市市民の森西向沼(米沢市笹野)
- (2) 障がい者森林体験(年1回)
実際に置賜地域の森林において障がい者が森林体験することで、置賜の森林の素晴らしさを体感し、森林案内ボランティア等との心のバリアフリーを推進する。
令和元年10月11日(金) 米沢市市民の森西向沼(米沢市笹野)
※台風による悪天候のため中止
- (3) 今後の事業あり方検討会
これまでの事業成果に対する評価、検証を行い、今後の事業実施についての検討を行った。
令和2年1月30日(木) 関係者10名出席

3 成果と課題

【成果】

障がいごとの特性や接し方の知識を習得し、実地研修で補助技術を習得することができた。
森林案内ボランティア同士の情報交換と今後の事業実施に向けて意見交換を行うことができた。

【課題と今後の対応】

森林案内ボランティアの一層の資質向上と心のバリアフリーを推進するため、引き続き養成講座と森林案内体験を実施する。
障がい者が気軽に森林体験できる環境整備のため、ネットワーク体制の構築を図る。

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和元年度置賜みんな一緒に森林活動ネットワーク事業の取組事例】

1 障がい者森林案内ボランティア養成講座

令和元年9月17日 南部コミュニティセンター・市民の森西向沼（米沢市）で開催 17名参加



講義状況



実地研修

項目	豊かな緑を守り育む意識の醸成	NO	3-4-4
----	----------------	----	-------

事業名	おきたま源流の森づくり活動推進事業		
事業費	380 千円	担当部局課	置賜総合支庁 森林整備課

1 目的

- ・ 源流の森の来場者による森づくりなど体験活動の支援を行う人材（源流の森「森の案内人」）の養成
- ・ 源流の森で、企業、団体及び県民が森づくり活動に気軽に参加できるよう、活動フィールドの環境整備

2 事業概要

源流の森の新たな森づくり活動推進事業（継続）

○ 源流の森「森の案内人」養成講座の開催

開催日： 9月1日（総合講座） 10月27日（専門講座）

場所： 山形県源流の森（飯豊町）

対象者： 森づくり活動などに興味があり、源流の森にてボランティア活動が可能な方

養成講座終了後に「修了書」を交付するとともに、「源流の森案内人」への登録を要請し、登録者には、源流の森で自然環境学習や森づくり活動のサポートなどで活躍していただく。

○ 源流の森「森の案内人」の能力向上講座の開催

開催日： 11月23日

場所： 山形県源流の森（飯豊町）

対象者： 源流の森の案内人

○ 森づくり活動フィールド整備

源流の森で、企業、団体及び県民による植栽や施肥などの森づくり活動の安全を確保するとともに、気軽に参加できるようフィールド整備を行った。

- ・ 森づくり活動箇所の整備（カヤの除去）

成果

- 「森の案内人」養成講座については総合講座と専門講座の実施により6名の案内人が誕生
- 源流の森の約180haの県有森林の有効活用

課題

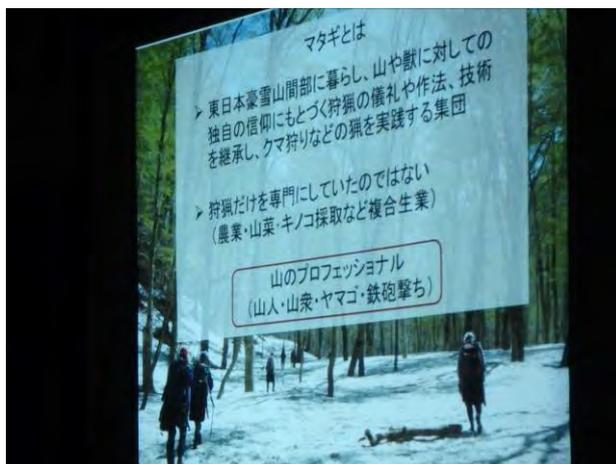
- 森林・自然学習及び森づくり活動への更なるサポート体制の充実
- 県民が気軽に、継続的に森づくり活動に参加出来るフィールド整備・体制づくり
- やまがた絆の森協定後の森づくりや企業の森づくり活動等への誘導
源流の森の活用に向けてPRの推進

やまがた緑環境税を活用した取組み

【おきたま源流の森づくり活動推進事業】

森の案内人養成講座

源流の森



小国マタギの今・昔

山の恵みを互いに分け合いながら、山と深く関わる、マタギという生き方。それは、人と人との、あるいは人と自然との確かな結びつきが実感できる「豊かな暮らし」であり、その実現は、間違いなく山里が持つ魅力の一つと言えるだろう。
「小国マタギ今・昔」冒頭 ～「小国マタギ」とは～より

令和元年度 源流の森インタープリター（森の案内人）能力向上講座
【令和元年度 おきたま源流の森づくり活動推進事業】

令和元年11月23日（土）14：30～15：50（80分）

山形県源流の森センター

講師：地域狩猟・民俗学研究者 蛸原一平氏

源流の森で森づくりなど体験活動を支援する人材（源流の森「森の案内人」）を養成するため、総合講座（9月）、専門講座（10月）、能力向上講座（11月）を開催。受講生は、森の案内方法、野外活動における救急処置法、自然と親しむネイチャーゲーム、マタギを通して人と自然との関わり等を学んだ。

項目	豊かなみどりを守り育む意識の醸成	NO	3-4-5
事業名	出羽庄内公益の森づくり事業		
事業費	442 千円	担当部局課	庄内総合支庁森林整備課

1 目的

庄内地域の海岸砂防林は、厳しい自然との共生の中で培ってきた大いなる遺産であるが、現在、手入れ不足や松くい虫被害、さらには、外来種であるニセアカシアの侵入等の脅威にさらされている。この海岸砂防林を、健全な状態で後世に引き継ぐため、多様な主体の協働による保全活動の推進並びに森林を守り育てる意識の醸成を目的として、下記の活動を実施した。

- (1) 多様な主体の協働による海岸林の保全
- (2) 住民参加の森づくり運動の推進と人材の育成

2 事業概要

- (1) 多様な主体の協働による海岸林の保全

- ・出羽庄内公益の森づくりを考える会の開催…2回(7/29、12/12、3/4中止)

海岸砂防林に関係する多様な主体(行政団体、教育機関、林業関係団体、住民団体等)がネットワークを組み、課題を共有し、庄内海岸松原再生計画のもとに連携して協働による海岸砂防林の保全活動を実施するため、現地検討会及び情報・意見交換実施した。

- (2) 住民参加の森づくり運動の推進と人材の育成

- ・森林ボランティア活動の支援…17回

森林ボランティア等による森林保全活動の企画・運営を行うとともに、各種団体や企業による森づくり活動への技術・安全管理指導や機材の貸し出し等の支援を行った。

- ・森林環境教育の支援…41回

職員出前講座である「地域ふれあい講座」において、保育園から小・中・高校・大学などの要請を受け、「庄内砂丘林について」の講話や枝打ち、刈払などの森林整備体験活動及び自然観察などの指導を行った。

- ・森づくり活動リーダー研修の開催…1回(12/22)

森林ボランティア活動の指導的役割を担う人材の育成を図ることを目的に、団体の活動においてより多くの参加者を募るための事例検討及び意見交換を行った。

- ・森の案内人養成研修の開催…3回(10/7、11/17、2/14)

眺海の森において、森づくり活動や森林環境教育活動を行う人材を養成するため、自然観察・ネイチャーゲームや野外活動での応急処置等に関する研修や既に森の案内人として活動する人材のスキルアップのため、「やまがた木育」に関する研修を実施した。

3 成果と課題

【成果】

- 「公益の森づくりを考える会」において、海岸砂防林の課題など関係者で情報の共有を図った。
- 森林環境教育やボランティア活動への支援、研修会の開催により、地域で森林を守り育てる意識の醸成が促進された。

【課題】

海岸砂防林の重要性等についての普及啓発を図るとともに、引き続き多様な主体の協働による保全などの活動については、情報を共有しながら具体的に進める必要がある。

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和元年度出羽庄内公益の森づくり事業の取組事例】

① 多様な主体の協働による海岸林の整備

【出羽庄内公益の森づくりを考える会の開催】 協働による海岸林の保全のための意見交



意見交換



現地検討

② 住民参加の森づくり運動の推進と人材の育成

【森林ボランティア活動の支援】

ボランティア活動の企画・運営、現地指導等 17回



光ヶ丘松林整備
ボランティア



森林整備ボランティア
砂防林を育てよう



ネイチャーゲームの体験

【森林環境教育の支援】

海岸林に関する講話、森林整備体験活動の指導等 41回



酒田市立浜中小 講話



酒田一中 枝打ち体験

【森づくり活動リーダー研修の開催】

現地で技術指導・安全管理等を行う
人材の養成 1回



グループワークによる意見交換